

Mさん(39)は、何ごとにも前向きな主任さん。でっぴりとした体形や豪快な笑い方には貫禄があり、上からも下からも人望が厚い。そんなMさんの悩みは痛風だ。原因は意外にも家庭内の不協和音らしいのだが…。

# 痛風

一昨年父親を亡くしたMさんは、長男としての務めを果たそうと母親を呼んで同居することにした。妻も反対はしなかったが、一緒に住んでみると反発しあうことも多く、最近ではお互いが露骨に嫌味を言いあっている。

立派な体格の割に気の弱いMさんは、そんなギクシ

今日のストレス

明日の病気

## 母との同居で家庭内に不協和音 過度な運動、暴飲暴食がたたたり…

ヤクした雰囲気はたまらなくなるのだ。

くつら。仕事が忙しいふりをして、連日同僚や後輩と飲み歩き、家には「寝て帰る」ように細工をしてい

そうはいつでも、さすがに毎日みんなも付き合ってくれない。そんな日は、会社帰りにスポーツクラブ

に寄って、閉館までトレーニング

「最近痛風の若年化傾向が進んでいる」と語るのは、東京都板橋区にある常盤台らいおん整形外科の小崎直人院長。ストレスが発端で尿酸値を高めているサラリーマンが意外に多いという。

悪しき熱風が

たところ、診断名は「痛風」。30代の身空で痛風になるなんて…。

ところがMさん、最近右足の指の付け根に激痛を感じ、歩くのにも難儀するようになる。病院で検査を

治療法はアルコールを含めた総カロリーの制限などが、「ストレスを抱えたままでは中々思うような改善は期待できない」と小崎医師は指摘する。

足に痛いよ…

「肥満傾向で活動的な人は特に要注意。適度な運動なら健康的だが、過度に汗をかけば脱水になり、血中の尿酸値が高まる環境が整

医師から、「このままじゃ入院か、最悪の場合は人工透析になることもある」と脅されたMさん。でも、そこまで深刻な事態に発展すれば、嫁姑戦争も収束の方向に向かうのではないかと淡い期待を抱いてしま

う。その後ろ向きな性格を治さない限り、ストレスが消えることはないだろう。

イラスト・メソポ田宮文明



(長田昭二)